

## 青春の邂逅

### 大切な仲間

中本 久和（学部21回）

入学間もない頃の英語の授業でのことである。英文数行を和訳する順番が私に回って来たが、「...had a love affair...」が理解できずなんと訳していいか分からなかった。教授が笑いながらいろいろ示唆してくれ、数回のやり取りでようやく「情事」という日本語を知った。かなりおくての学生だったのだろう。隣の席に座っていた西原幸二君が話しかけてくれたのもこれがきっかけだったのかも知れない。その後、西原君を通じて、彼と同一宿先あるいは同一クラブ（山岳部）だった四君（中澤弘二、三村春樹、井上幸三、福井清久）とも知り合いとなった。気が合うというのだろうか、この五人とは卒業後半世紀を過ぎた今でもお付き合いが続いている。

独身時代は、歌声喫茶、ボーリング、

スキー、テニス、登山、お酒、カラオケ、等々色々なことをこの仲間たちと楽しませてもらった。記憶を辿れば、大久野島でのキャンプ・海水浴、梅池高原でのスキー、山開きになったばかりの奥穂高（涸沢小屋）、真夜中の六甲山中での親子との遭遇、スクリーンはなく音楽が流れるだけの初期のカラオケ・バー、深夜までちびちび酒を飲みながら楽しんでフグ料理、等々数々の思い出が懐かしく蘇ってくる。

その後、結婚、子育て、仕事等の諸要因によりグループで集まることは途絶えていたが、40代半ば頃になるだろうか、ゴルフが仲間を再結集させた。

さてそのゴルフであるが、2009年以降はゴルフ親睦会として一年に一回定期的に集まるようになった。数年後、中澤君の硬式テニス部時代からの友人である溝内徹君と渡部崇男君を迎え、現在のメンバーは合計8名。親睦会の日程は二泊三日で、ゴルフは基本的に2つのゴルフ・コースにチャレンジする。また、集合初日は時間が許す限り観光付きとなっている。夕食時なかなか楽しく、懐かしい顔ぶれとの久方ぶりの会合で



夕食 2018年10月



2018年10月 姫路城  
前列向かって左から：福井、三村、中澤  
後列向かって左から：井上、西原、溝内、中本

ある。学生時代の話、近況報告、時事問題等々色々な話が飛び出し、アルコールも手伝って取り留めのない会話で至福のひと時を過ごす。そして、食後はカラオケ大会。全員歌好きで盛り上がりマイクの取り合いになる。



2019年10月 高室池GC

残念ながら、2020年・2021年はコロナに阻まれ集まれなかった。2022年は再開されたものの、石川県在住の福井君と千葉県在住の私はコロナ感染のリスクを考え参加を見合わせた。コロナ収束の兆しはなかなか見えてこないが、来年（2023年）こそ是非参加したいと思っている。  
今やこの集まりは私の大切な財産だ。いつ迄できるか分からないが、メンバー8名全員で、元気で楽しい集まりがこれからも長く続けられることを望んでいる。